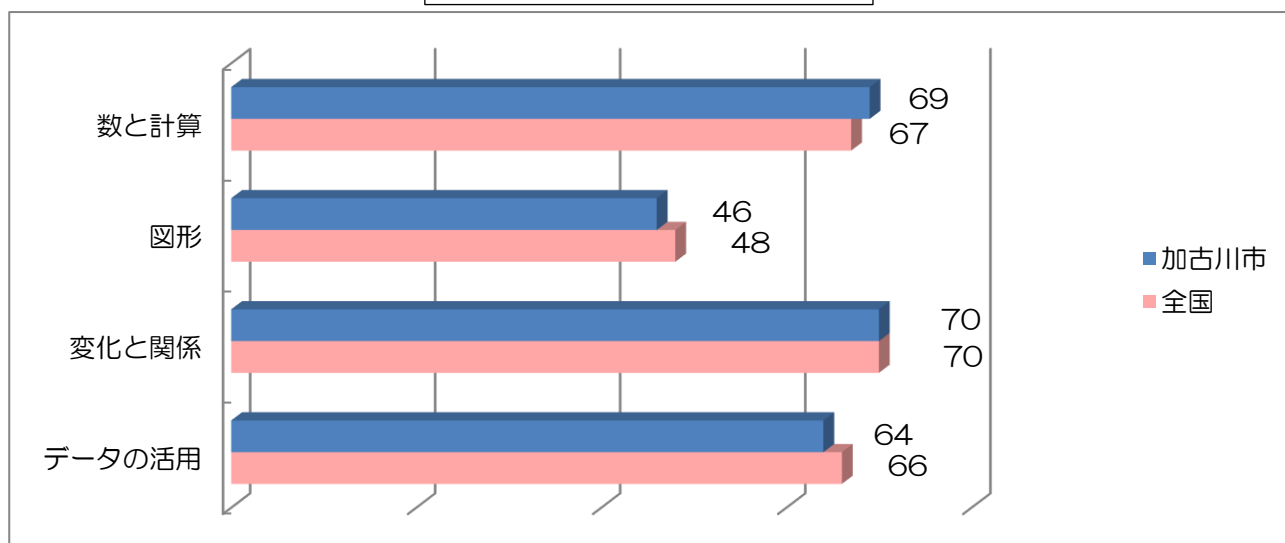


## 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要（加古川市）

### <小学校 算数>

全国平均とほぼ同程度でしたが、特に、三角形の意味や性質を手がかりに、面積の大小について言葉や数字を用いて説明する問題や、百分率で表された割合について理解しているかどうかを見る問題、また、二次元の表から条件に合う数を読み取る問題において課題が見られました。今後も、図形の意味や性質を基に考えたことを説明したりすることや、百分率で表された割合について理解する、また、データから読み取った情報を基に考える学習を充実させることが大切です。

領域別調査結果（小・算数）



#### ○ 加古川市の児童が比較的できている問題

問題番号	問題の内容
1 (1)	伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、5脚の椅子を重ねたときの高さを求める。(変化と関係)
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていない(比例の関係ではない)ことを説明するために、表の中の適切な数を使って書く。(変化と関係)
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、 $50 \times 40$ を計算する。(数と計算)
3 (3)	$(151 + 49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める。(数と計算)

#### ○ 加古川市の児童がやや苦手としている問題

問題番号	問題の内容
2 (3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときの角の大きさを書く。(図形)
2 (4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。(図形)
4 (1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ。(変化と関係)
4 (4)	二次元の表から、条件に合う数を読み取り、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ。(データの活用)